

降雨・水位・被害の状況

平成24年7月12日未明から、梅雨前線に向かって発達した雨雲が次々と流れ込み、白川水系の流域面積の約8割を占める阿蘇カルデラ内を中心に短時間に記録的な大雨となりました。

阿蘇市では、1時間あたり100mm前後の雨が4時間継続するなど、12日0時から9時までに492.5mm(阿蘇乙姫)を観測する記録的な豪雨となり、気象庁はこの大雨を、「これまでに経験したことのないような大雨」という表現で発表しました。

この豪雨により、阿蘇カルデラ内を流れる白川水系黒川や下流の熊本市街地を流れる白川では、河川の水位が大きく上昇し、流域全体で未曾有の被害が発生しました。

位置図



白川水系流域内の24時間雨量分布(7月11日11時~12日10時)



浸水戸数等

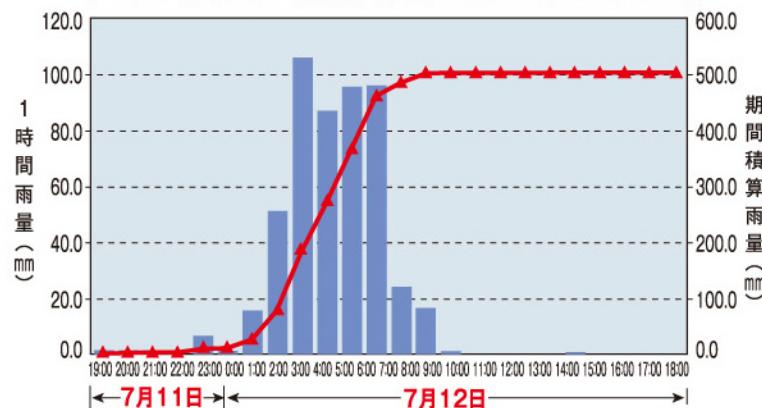
H24.7.12出水	白川(熊本市)	黒川(阿蘇市)
全壊・半壊	183	0
床上浸水	321	1541
床下浸水	284	333
合計	788	1874

※熊本県河川課集計(平成24年9月21日時点)



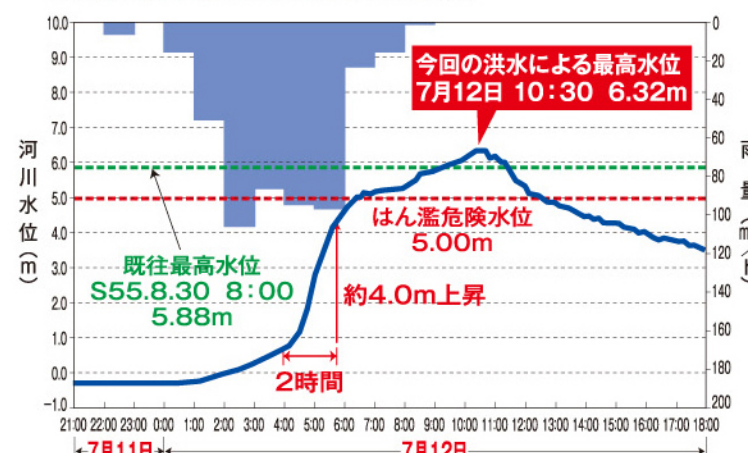
雨量(阿蘇乙姫)

アメダス降水量の時刻系列図(7月11日17時~12日16時)



白川水系白川の水位(雨量:阿蘇乙姫-水位:代継橋)

下流の熊本市を流れる白川では、2時間で約4m水位が上昇。10時30分に観測史上最高水位を記録。



白川水系黒川の水位(雨量:阿蘇乙姫-水位:黒川)

上流の阿蘇市を流れる黒川では、13時間にわたり、氾濫危険水位を超過。7時10分に最高水位を記録。

